

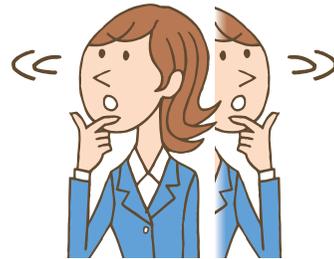
## リアルな企業の情報をキャッチ!

# OB・OG訪問の基礎知識

会社案内や説明会だけではわからないことはたくさんあります。気になる様々なことを知るためには、その企業に勤めている京都大学のOB・OGに会って、直接話を聞くのが効果的です。

### ⇒ OB・OG訪問とは何か

インターネットを活用した就職活動が当たり前になった現在。だからこそ、実際に現場で働く人の生の声を聞くことや職場の雰囲気を、自分自身の体で感じることが大切なのです。それがなぜ大切なのかというと、大学の先輩であり、社会人の先輩であるOB・OGを訪ねることは、会社の生きた情報を聞き出す絶好のチャンスだからです。例えば、実社会で働いている先輩たちが、会社でどう働いているのか、どんな雰囲気の会社なのか、先輩と後輩の関係や会社の中の風通し、フレンドリーなのか規律が厳しいのかなど、活字にならない生きた情報を手に入れることができます。ただ漠然と訪問するのではなく、自分の知りたいことや先輩への質問事項などをまとめて、明確なイメージを持って訪問しましょう。



### ⇒ OB・OG訪問の目的

資料やネットではわからない部分を、自分の足と目と耳を使って実際に調べることが、業界研究・企業研究ではとても重要です。そこで、志望企業がある程度絞り込んだ段階で、業界動向や仕事の内容や職場の雰囲気をつかむためにOB・OG訪問をします。自分なりのフィーリングで感じとってくることは、OB・OG訪問でこそできる大切な企業研究です。また、同じ京都大学の後輩とはいえ、見ず知らずの人間の訪問に自分の時間を割いてくれるわけですから、先輩にとってはボランティア的な行為だということに十分注意してください。あくまでも礼を失さない程度に疑問や不明な点を質問し、明確にしてもらいましょう。

### ⇒ OB・OG訪問の注意点・ポイント

OB・OG訪問をする際のコツとして、履歴書など自分自身のプロフィールを説明できるようなものを携えて行きましょう。会社によっては、OB・OG訪問が初回の面接になっているケースもあるからです。また、気に掛けてもらえれば、上司や採用の権限がある人に取り次いでくれることもあります。つまり、OB・OG訪問には二つの側面があって、一つが本来の目的である活字にならない情報を受け取るという企業研究の場。そして、もう一つが先輩たちはリクルーター的視点でも見ているので、自分の良いところを伝える、自己アピールの場にもなるのです。



## 積極的に声をかけていこう!

# OB・OGの探し方

自分の人脈だけでは思い当たらず、どうやって見つけたらいいのかわからない方も多はず。そんなときは、この本を積極的に活用しながら、まずはキャリアサポートルームに相談。ほかに、いろいろな方法があります。

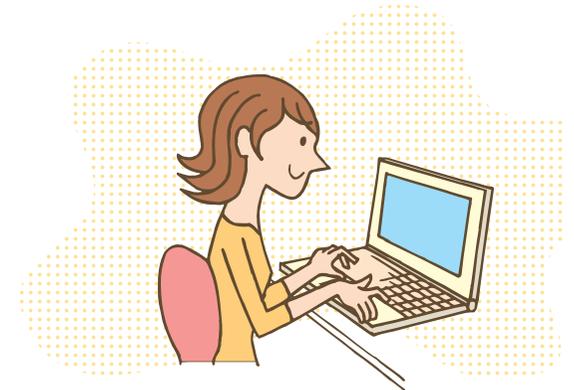
### ⇒ キャリアサポートルームの「卒業生名簿」から探す

大学のキャリアサポートルームでは、OB・OG訪問のための「卒業生名簿」を閲覧することができます。「卒業生名簿」は後輩のためにOB・OG訪問に協力していただける、過去3年間に卒業した京都大学の先輩たちの名簿です。キャリアサポートルームでしか閲覧できない貴重な情報ですので、ぜひキャリアサポートルームを利用しましょう。



### ⇒ 企業に直接問い合わせる

企業の人事担当者に連絡を取り、OB・OGを紹介してもらうという方法もあります。また企業の人事部へのアプローチとして、学内の企業セミナーや業界研究会などに参加の企業の採用担当者に質問すれば、OB・OGがどこの部署にいるかなどの情報を教えてくれる場合があります。



ほかに、  
こんな探し方 etc.

- アルバイト先の上司や先輩
- 担当教員
- ゼミ・サークルの先輩
- 両親や兄弟、親戚など

# まずは、電話でアプローチ！ 上手なアポの取り方



OB・OGの連絡先がわかったら、まずは訪問のアポを取ります。電話でのアプローチが基本です。自己紹介、訪問の目的、こちらの希望などを簡潔にまとめて伝え、OB・OGからの返事をもらいます。アポを取る時点から、すでにOB・OG訪問は始まっていますので、丁寧な態度で臨みましょう。

## 電話での会話例

※アポの電話は、始業や終業の前後、昼休みなどの時間帯をさげましょう。

「私、京都大学○○学部の○○○○と申します。  
△△部の△△様におつなぎいただけますでしょうか？」

直通の電話番号を知っている場合は直接、  
知らない場合は、  
本社の代表電話番号に連絡します。

**不在の場合** 戻り時間を確認する

**在席の場合** 取り込み中でないか確認する

「それでは、また改めて  
お電話させていただきます。  
何時頃にお戻りになるか  
教えていただけますでしょうか？」

「はじめまして。お忙しいところ失礼いたします。  
私、京都大学○○学部の○○と申します。  
今、お話をさせていただいてよろしいでしょうか？  
今日は、キャリアサポートルームの卒業生名簿を見まして、  
ぜひOB・OG訪問をお願いしたいと思い、ご連絡を差し上げました」

**多忙の場合** 都合を確認する

**了承の場合**

「それでは、また改めて  
お電話させていただきます。  
かけ直してご迷惑でない時間を  
教えていただけますでしょうか？」

**用件を簡潔に話す**  
**手元にメモ用紙を用意しておく**  
「現在就職活動中で、御社を志望しております。  
先輩にお話を伺いたくしてお電話をさせていただきました。  
是非一度、お会いできればと思っております。  
お忙しいところ恐縮ですが、  
お時間をいただけませんか？」

**希望日時を伝える**  
**万一の連絡用に先輩直通のデスクの番号を聞く**

「来週か再来週の午後以降で、○○様のご都合が  
よろしい日時はありませんでしょうか？」

**内容を復唱し、最後にお礼を言う**  
**先方が受話器を置くのを確認してから電話を切る**

「確認のため復唱させていただきます。  
日時は○月○日○時から、  
場所は△△△でお願いいたします。  
本日は、ありがとうございました。  
それでは、失礼いたします」

### メールも送ろう

電話でのアプローチが基本ですが、面識のない場合など、いきなりでは失礼に感じるようであれば、先にメールを送っておきましょう。改めてお電話をさせていただく旨を前もってお伝えしておけば、より丁寧です。

# 聞きたいこと・企業情報をまとめておこう！ 事前に準備すること

忙しい先輩たちの時間を無駄にしないためにも、訪問企業のホームページや会社四季報を見ればわかるようなことを質問するのはやめましょう。「それは、調べればわかるでしょ」ということは聞かないための準備が必要です。

## ➡ 持っていくもの

### ● メモ帳・筆記用具

会話の中で、印象に残ったエピソードやキーワードなどを書き留めておきましょう。訪問後は、気持ちが熱いうちにアウトプット。情報・感想・印象・評価をすぐにまとめます。そして、自分の志望業界や仕事に対する価値観に変化があったか振り返ってみましょう。



### ● 質問事項をまとめたノート

事前の準備がOB・OG訪問の成果を決めます。下調べがないと具体的な質問はできないものです。ホームページや会社四季報など事前にわかる基礎的な企業情報をふまえた上で、聞きたいことを箇条書きにした質問ノートを作って持っていくきましょう。聞き忘れを防ぐだけでなく、たとえ会話が途切れても、焦ったりしません。

### [ 質問例 ]

- |   |   |   |
|---|---|---|
| <input type="checkbox"/> 先輩がその業界・企業を志した理由は？   | <input type="checkbox"/> 社内の雰囲気について           | <input type="checkbox"/> どんなことがプラス評価になるのか？  |
| <input type="checkbox"/> 具体的な仕事内容は？           | <input type="checkbox"/> 先輩・後輩・同僚のコミュニケーションは？ | <input type="checkbox"/> どんなことがマイナス評価になるのか？ |
| <input type="checkbox"/> 1日のスケジュールについて        | <input type="checkbox"/> この会社を受けるために準備したことは？  | <input type="checkbox"/> 自分の意見を話しやすい社風か？    |
| <input type="checkbox"/> 入社の前と後で、ギャップを感じたことは？ | <input type="checkbox"/> 仕事の具体的なやりがいについて      | <input type="checkbox"/> 打ち合わせやミーティングの雰囲気は？ |
| <input type="checkbox"/> 選考過程(試験・面接など)について    | <input type="checkbox"/> 仕事の具体的な辛い部分について      | <input type="checkbox"/> 休日に会社の人たちと会う？      |
| <input type="checkbox"/> 面接の際に聞かれたことは？        | <input type="checkbox"/> オンとオフの切り替えについて       | <input type="checkbox"/> これまで経験した仕事について     |
| <input type="checkbox"/> 平均勤続年数はどれくらいか？       | <input type="checkbox"/> 1日にどんな人と何人くらいに会うのか？  | <input type="checkbox"/> 何時頃、入社しているか？       |
| <input type="checkbox"/> 平均年齢は何歳くらいか？         | <input type="checkbox"/> 仕事で一番夢中になれることは？      | <input type="checkbox"/> 何時頃、退社することが多い？     |
| <input type="checkbox"/> 配属は希望がどの程度考慮されるのか？   | <input type="checkbox"/> 仕事での成功談について          | <input type="checkbox"/> 会社に必要の人材について思うこと   |
| <input type="checkbox"/> この会社に入って良かったことは？     | <input type="checkbox"/> 仕事での失敗談について          | <input type="checkbox"/> 自分の印象とアドバイス        |

### ● 履歴書(写真添付)

履歴書など学生時代のプロフィールを示す書類を用意しておきましょう。書き方のアドバイスを受けるという意味だけではなく、自分が何に興味を持っているのか、どうして興味を持つようになったのかを説明する上で役に立ちます。写真添付の履歴書を持参すれば、そのままOB・OGに預けることができる場合もあり、人事部などに渡してもらえるなどの展開も期待できます。



# 第一印象を大切に臨みましょう! 服装と身だしなみ

第一印象を大きく左右するのが服装と身だしなみです。  
女性はもちろん、男性もナチュラル&清潔感を心掛けましょう。  
好印象を演出するためのスタイリングをご紹介します。

## ⇒ 服装

### スーツ

紺色や黒色、ダークグレーが主流。肩幅や袖丈をチェックし、自然なシルエットになるものを選びましょう。Yシャツは最低でも3、4着は必要。アイロンがけがいらぬ形状記憶タイプが便利です。

### バッグ

A4サイズの書類がすっぽり収まる、ブリーフケースタイプのバッグを。デイバックやクリアケースはNGです。

### シューズ

黒の本革靴が無難。汚れが目立たないように、クリーナーでこまめに手入れしましょう。靴下は黒か紺、グレー系を。



man

### スーツ

若々しい印象を与える紺やダークグレーが人気。スカートかパンツかはどちらでもかまいませんが、スカートなら膝上3センチを目安に、短くなりすぎないようにしましょう。

### バッグ

革やナイロン製のバッグがおすすめ。A4サイズの書類が入る大きさを選びましょう。

### シューズ

あまり派手なデザインは避けて、スーツに合ったものをセレクト。長時間歩くことも考えて、ヒールは低めに。



woman

## スーツ選びのポイント7か条

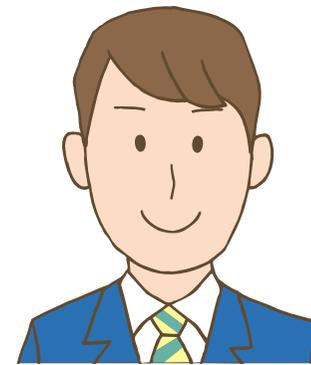
- 肩幅 ..... スーツは「肩で着る」と言われています。肩パッドが、肩のラインからはみだすのは大きすぎる証拠なので要注意。
- 胴回り ..... 大きすぎるとボタンをかけたときにたるみができてしまうので気を付けましょう。上着の内側に握りこぶしを入れたときに、少し余裕があるくらいがベストサイズです。
- 袖丈 ..... シャツの袖は上着から1センチ程度出るのが基本です。
- 着丈 ..... ヒップラインが隠れるくらいが一般的ですが、少し短めでもOKです。
- ウエスト ..... 指が自然に入るくらいのゆめを目安に好みに応じたサイズで調整しましょう。
- パンツ・スカート丈 ..... パンツは、靴の甲に少し余る程度の長さ。スカートは、膝上3センチ、座った時に膝上10センチ以内になる程度の長さが一般的です。
- 裾 ..... シングルでもダブルでも好みの方を選びましょう。

## ⇒ 身だしなみ

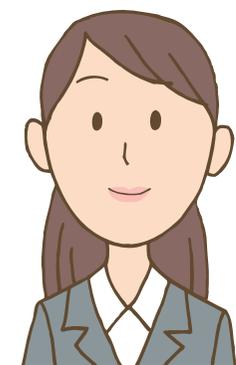
企業によっては、OB・OG訪問が人事と直結している「リクルーター制度」をとっているところもあるので、OB・OG訪問も企業訪問と同じ心構えを持って臨むことが大切です。  
企業訪問用のスーツか、それに準じているか、服装・身だしなみもしっかりチェックしましょう。

man

woman



髪型はすっきりとした、清潔感のあるスタイルを意識しましょう。たとえ、アパレル業界志望であったとしても、髪を染めたり、長髪、パーマなどには避けてみましょう。また、髭は必ず剃って臨みましょう。



ショートでも、ロングでも顔が隠れないようにまとめましょう。清潔感のあるヘアスタイルとマッチするように、メイクもナチュラルに。また、アクセサリーは身につけないほうが無難です。

## 服装と身だしなみのチェックポイント

- 頭髪 ..... 髪は見苦しくない長さにスッキリと。寝癖やフケにも注意。男性は茶髪、強いパーマはNGです。女性もカラーリングは避けた方が良いでしょう。
- メイク ..... 男性は、眉毛を整えすぎるのは逆効果です。また、髭はきれいに剃って清潔感をアップさせましょう。女性は、濃いメイクを避けるのはもちろん、アクセサリーも基本的にはつけないようにしましょう。
- 爪 ..... きれいに切っておきましょう。マニキュアを塗るのであれば、透明や薄いピンクを選びましょう。
- 襟 ..... 汚れていないかをチェックしましょう。
- 袖口 ..... 汚れていないかをチェックしましょう。
- 腕時計 ..... 時間を厳守するためにも、必ず身に付けておきましょう。
- ソックス ..... 男性は白のカジュアルソックスはNG。黒や紺、グレーといった色を選びましょう。
- ストッキング ..... 女性は黒、柄物はNG。肌にあつた色。予備として一足持参することも忘れずに。
- 裾 ..... プレスは丁寧にしておきましょう。
- 靴 ..... きちんと磨いておきましょう。かかとがすり減っていないかもしっかりチェック。

